

兵庫県商工新聞

編集委員会
兵商連新聞編集委員会
発行
兵庫県商工団体連合会
〒652-0811
神戸市兵庫区新開地4-4-12
☎ (078) 341-0563(代)
FAX (078) 341-0885
http://www.hyoshoren.co.jp/
Email: info@hyoshoren.co.jp

2017年7月
第299号

たたかってこそ 要求実現 力を合わせ 商売守ろう!

不当な差押え、返還を

新井孝明さん手記(介護事業所)【神戸北民商】



外に方法はありませぬ! 家は払っていいんでしょ!」と言われ、あきらめました。5月17日、口座に売上金が入る予定で、その中から10万円程は年金事務所へ持って行ける

昨年、経営状況が困難になり、社会保険料の納付ができなくなりました。

今年1月31日、年金事務所へ行き、長期の分納の希望を伝えましたが、対応した職員からは、決められた分納計画が示され、「これ以下の金額は無理」と、言われるままに納付誓約書を書かされました。それはとてもきびしい金額で結局、支払えず、滞納することになりました。

その後、差押え通知が届き、4月26日に年金事務所へ。担当者「納付額を少なく設定できませんか?」と相談しましたが、「これ以上、なげ話してくれなかつたのか、差押えは不適切か、翌日一人で年金事務所へ。しかし、「納付誓約書が適切」とのこと、話を

聞いてもらえませぬ。24日、給料日前日。納得いかず、また、民商の方々にも同行してもらい、もう一度、年金事務所へ。年金事務所では、「納付誓約書も書いているし、差押えは解除できない。返金もできない。納得いかないのではあれば、不服申し立てを」と。

年金事務所の職員は、猶予制度の説明もせず、経営者の状況も把握しないで、強引な

25日には給料を支払わなくてはなりません。どうしたらと悩み、民商に相談しました。

22日、民商と一緒に年金事務所へ差押え解除を求め交渉に。しかし、年金事務所の職員は、「解除できない。計画通りに納付して頂けないので差押えたい」の繰り返し。

猶予制度があるのに、なぜ話してくれなかつたのか、差押えは不適切か、翌日一人で年金事務所へ。しかし、「納付誓約書が適切」とのこと、話を



6月14日、収支内訳書学習会を開き、役員・会員14人が参加しました。

消費税込後、長年送られてくる収支内訳書の提出強要の文書。

収支内訳書の提出強要は違法

【長田民商】

6月14日、収支内訳書学習会を開き、役員・会員14人が参加しました。

差押えを実行しました。今回、差押えられた給料そのものであり、差押え禁止財産です。私は、憲法違反の差押えを解除し、人件費の返還を求め、これからたたかいます。



商売交流が楽しい

第14回「経営力アップ交流会」【兵青協】

6月11日、姫路民商で開かれた第14回「兵青協経営力アップ交流会」。今回のパネラーは、中本正治さん(クリーニング)。丁寧な仕事を基本に、顧客にダイレクト・メールを送ったり自作のチラシを配ったりし、人のつながりを大切にしています。

木寺優さん(塗装)は、若いだけに、ネットを活用して自分の事業をアピール。顧客の特殊な要望に可能な限り応え、経営を伸ばしています。

7月は文披月。七夕のために貸す文を披らうのだ。でも私には昭和12年7月が印象深い。

民商も参加する兵庫区社会保険推進協議会。今年11回目の国保相談会を、6月19、20日の2日間行いました。

国保・市民税も減額に

【兵庫区相談会】

本人は覚えていませんが国保課からの所得照会に際し、所得欄に収入を書き込んでいたため30万の国保料に。市民税申告を行い国保課で再計算してもらうと、法定減額も入り、5.5万円になりました。

73歳男性、年金とパート収入。H28年分は無申告。源泉所得税なし。国保料84万、市民税3.5万円。「窓口で相談に行くも、計算は正しいと言われた」と。市民税の通知を見ると、特別徴収されている介護保険料だけが社会保険料控除として引かれているだけ。国保料や生命保険控除も抜けており、市税の申告を説明しました。話の中で、別居の母親が扶養に取れることも判明。市民税申告5年、国保料2年の見直しで合わせて27万円の減額になりました。



兵庫区相談会

7月は文披月。七夕のために貸す文を披らうのだ。でも私には昭和12年7月が印象深い。

当時、アジアには欧米などの植民地が多く、日本も朝鮮・台湾などもそうだった。私が小3の7月7日夜、北京郊外の盧溝橋での一発の銃声を支那軍発砲として暴支膺懲を掲げ日支事変が始まり、太平洋戦争へとつながった。戦後、かの銃声は日本が為に放ったと、母の弟も召集され、出征を見送ると母の実家を訪ねた。でも大陸から数回の軍事郵便が届いた後、中支で帰還した。戦いは続いており、南京占領など全国的に昼は日の丸旗を掲げて行列、夜は日の丸提灯を掲げて行列し、戦勝を祝った。日本軍は更に南進し、ペトナム、マレーシアからシンガポールまで進軍し、昭南島と和称するなどした。昭和16年12月8日の真珠湾攻撃から太平洋戦争へと広がり続けた。以後、日独伊三国同盟を組み、米英とたたかっていたが、いずこの地域でも緒戦のみは勝利を得たものの敗戦続きでガダルカナル島などは合掃も尽き「餓島」といわれる始末。上陸して30分後には島の「綿」がすべて無くなったと聞いた。

